

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公開番号】特開2014-141146(P2014-141146A)

【公開日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-042

【出願番号】特願2013-9989(P2013-9989)

【国際特許分類】

B 6 0 T 13/12 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 13/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月6日(2015.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両の車輪に制動力を付与するホイルシリンダ(541、542、543、544)と、

駆動液圧室(1A)に入力されている駆動液圧によりマスタピストン(14、15)が駆動されて前記ホイルシリンダにマスタ液圧を出力するマスタシリンダ(1)と、

パイロット液圧室(4D)に入力されているパイロット液圧に応じた前記駆動液圧を前記駆動液圧室に出力する機械式の駆動液圧発生装置(44)と、

前記パイロット液圧室に所望の液圧を出力する電動式のパイロット液圧発生装置(41、42)と、

を備える液圧制動力発生装置(BF)に適用される制動制御装置であって、

ブレーキ操作部材(10)の操作量が所定値以下であるか否かを判定する判定手段(6(61))と、

前記判定手段により前記ブレーキ操作部材の操作量が所定値以下であることが判定されている場合に、前記パイロット液圧発生装置を制御して前記パイロット液圧室に、前記ホイルシリンダ内の液圧が実質的に大気圧に維持されるような値に設定された大気圧よりも大きい液圧を発生させるパイロット液圧制御手段(6(62))と、

を備える制動制御装置。

【請求項2】

前記ホイルシリンダが設けられている車輪に制動力が付与されることを予測する予測手段(6(63))を備え、

前記パイロット液圧制御手段(6(62))は、前記予測手段により車輪に制動力が付与されることが予測されている場合に前記大気圧よりも大きい液圧を発生させる請求項1に記載の制動制御装置。

【請求項3】

前記パイロット液圧制御手段(6(62))は、前記パイロット液圧発生装置を制御して前記大気圧よりも大きい液圧に対応する予め設定された液量の作動液を前記パイロット液圧室に供給する請求項1又は2に記載の制動制御装置。

【請求項4】

前記駆動液圧を取得する駆動液圧取得手段(74)を備え、

前記パイロット液圧制御手段（6（62））は、前記駆動液圧取得手段により取得されている前記駆動液圧が前記大気圧よりも大きい液圧に対応する準備駆動液圧になるように、前記パイロット液圧発生装置を制御する請求項1又は2に記載の制動制御装置。

#### 【請求項5】

前記パイロット液圧を取得するパイロット液圧取得手段（77）を備え、

前記パイロット液圧制御手段（6（62））は、前記パイロット液圧取得手段により取得されている前記パイロット液圧が前記大気圧よりも大きい液圧になるように、前記パイロット液圧発生装置を制御する請求項1又は2に記載の制動制御装置。

#### 【請求項6】

前記パイロット液圧は、前記駆動液圧室に発生する液圧が、前記マスタピストンをその初期位置に向けて付勢する付勢部材（144）のセット荷重以下になるように設定される請求項1～5の何れか一項に記載の制動制御装置。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1に記載の発明は、車両の車輪に制動力を付与するホイルシリンダ（541、542、543、544）と、駆動液圧室（1A）に入力されている駆動液圧によりマスタピストン（14、15）が駆動されて前記ホイルシリンダにマスタ液圧を出力するマスタシリンダ（1）と、パイロット液圧室（4D）に入力されているパイロット液圧に応じた前記駆動液圧を前記駆動液圧室に出力する機械式の駆動液圧発生装置（44）と、前記パイロット液圧室に所望の液圧を出力する電動式のパイロット液圧発生装置（41、42）と、を備える液圧制動力発生装置（BF）に適用される制動制御装置であって、ブレーキ操作部材（10）の操作量が所定値以下であるか否かを判定する判定手段（6（61））と、前記判定手段により前記ブレーキ操作部材の操作量が所定値以下であることが判定されている場合に、前記パイロット液圧発生装置を制御して前記パイロット液圧室に、前記ホイルシリンダ内の液圧が実質的に大気圧に維持されるような値に設定された大気圧よりも大きい液圧（準備パイロット液圧）を発生させるパイロット液圧制御手段（6（62））と、を備える。